

全国実行委員参加型リフレッシュ理科教室オンラインについて（実施報告書）

開催日時	2021年9月19日（日） 14:00～16:00
場所	Zoom
参加者	25組51名（応用物理学会会員25名とそのご家族）
実施組織	教育企画委員会

●開催目的

教育企画委員会では、学校教育における「物理ばなれ」による日本の科学技術やものづくりの長期的衰退を食い止めるべく、理科教育に技術の視点を導入する啓発活動を実施している。その啓発活動の柱であるリフレッシュ理科教室は、主に各支部・応用物理教育分科会によりそれぞれの地区で行われている。今回、リフレッシュ理科教室の取り組みを応用物理学会会員にさらに広く周知し、応用物理学会の科学教育・科学啓発活動への理解を深めていただくため、さらには会員サービスの観点から、各支部・応用物理教育分科会の協力を得て、応用物理学会教育企画委員会として、全国の応物学会会員とそのご家族を対象に、オンラインリフレッシュ理科教室を実施した。

●開催内容

【対象】 応用物理学会会員とそのご家族（小学校3年生～中学生のお子様）

【内容】 会員が、自身の子と一緒に理科工作を楽しむ

【場所】 オンライン（Zoom, ブレイクアウトルームを利用）

【参加費】 無料

【定員】 各テーマ5組。事前申し込み。応募者多数により抽選にて参加者を決定した。

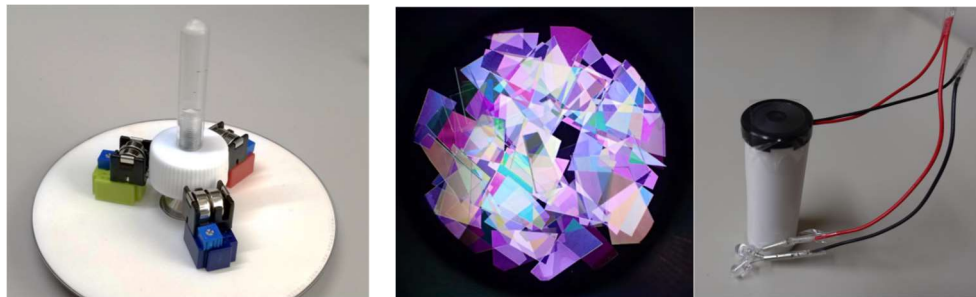
【工作テーマ・担当者】

- 1 光をまぜまぜ？光るコマを作ろう！（東北支部企画）
 - 2 色が変わるよ！偏光万華（東海支部企画）
 - 3 紙コップの上で回転する動物たち-磁石の力-（中国四国支部企画）
 - 4 カチャカチャライト-圧電効果の実験と工作-（九州支部企画）
 - 5 豆電球のフィラメントを観察して、電池と手回し発電機で切ってみよう！（北陸・信越支部企画）*
- （*）テーマ5については、事前に実験用具を貸出し、参加者と家族が自身で実験を行い、その結果について考察する座談会を開催した。

●開催結果（成果）

当イベントの募集家族は25組であったが、実際には37組の応募があり抽選を行った。抽選に当選した参加者は皆、大変積極的に参加し、当日の欠席者はいなかった。なお、参

加者の年齢は小学3年生～中学2年生と幅があったが、年齢が小さいから参加できない、大きいから物足りないということもなく、皆それぞれに楽しめていたようである。イベント終了後にアンケートを実施したところ(25組中23組が回答)、回答した100%の参加者が、本イベントについて「有意義であった」「わかりやすかった」と回答しており、非常に参加者満足度の高いイベントとであったことが伺える。会員の親からも、子どもと楽しめたとの声が多数聞かれた。ただ、91%の参加者が、「リフレッシュ理科教室」のことを知らなかったと回答しており、認知度を高める必要性が見受けられた。オンラインで開催することで、全国各地より参加ができることは非常に大きなメリットであったが、対面と比べて多くの参加者に対応することができないという点がデメリットであった。



左から、「光るコマをつくろう」のコマ、「偏光万華」を除いた様子、「カチャカチャライト」

リフレッシュ

オンライン開催 会員の皆様、ご家族と一緒に!

理科教室

2021年9月19日(Sun.)

【時間・場所・テーマ】
・9月19日(日)14時～16時
・Zoomミーティング
・テーマについての詳細はお申込みページをご参照ください。

【開催方法】
Zoomのブレイクアウトルームを利用します。
すべてオンラインでの開催です。
理科教室で使用する理科工作キットは、当選者の方に事前にお送りさせていただきます。

【募集人数】
各テーマにつき、最大5家族まで。応募者多数の場合は抽選。特別理科工作キットは1家族1セットのみの送付とさせていただきます。
当落については9月初旬ごろお知らせします。

【参加資格】
小学3年生～中学生のお子さんと参加可能な応用物理学会会員。

【お申込み期限】
8月末

お申込みは以下のサイトより！
<https://pro.form-mailer.jp/lp/707b7773227312>

お問合せ先：応用物理学会 教育企画委員会
education@jsap.or.jp

オンライン初回特別！
参加費無料
工作キット無料送付



募集案内

注意事項

実施後1ヵ月以内に決算報告書と写真付きの実施報告書を提出してください。

この報告書の提出期限は12月5日厳守になります。

そのままWebに掲載いたしますので、個人情報や写真の被写体に注意してください。

これからも補助が続けられるように、寄付してくれた方がまた寄付したくなるような報告書を目指してください、よろしくお願いいたします。